

新しい大津町をつくる

101の具体策

進捗のお知らせ

町政に関する ご報告

大津町民の皆さまへ

大津
町長

カナダ

金田ひでき

新風!

vol.36

新しい大津へ。

この思いに共感いただいた多くの方々のお力で、2021年2月より大津町長として町政運営にあたる日々が始まりました。

就任当初から新型コロナウイルス感染の拡大防止に努めながら、掲げた政策の実現に向けて全力で取り組むなか、同年10月には台湾半導体大手TSMC(JASM)の熊本進出が発表され、町には誰も予想していなかった未曾有の変化が起きました。

そうした激動の中でも、町政運営にご理解とご協力をいただいた多くの皆さまのお陰で、新たに発生した課題への対応や未来への新たな種まきを着実にしながら、当初掲げた【101の具体策】についても、そのすべてに着手し、多くを実現することができました。

まだまだやるべきことは山積みですが、お約束した「新しい大津」へも少しずつながら変わってきていると感じています。

心からの感謝の思いを胸に、この4年間の取組みと成果をご報告いたしますとともに、今後のビジョンについてご紹介させていただきます。

2024年12月吉日 金田 英樹

目次

▶ 町長就任から起きている変化	P.03
▶ 【101の具体策】の進行状況	P.11
▶ 町の展望と今後の取組み	P.47
▶ プロフィール	P.53

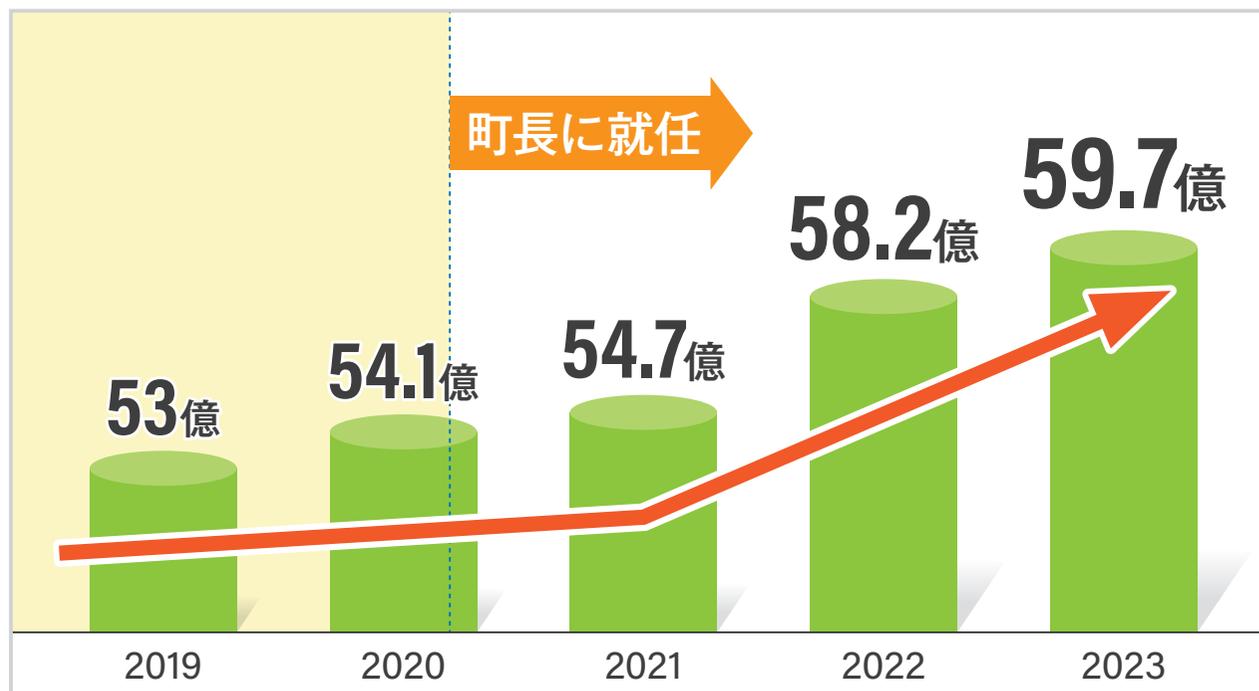
コラム

① 町政を前に進める	P.09
② 未来への種をまく	P.10
③ 逆境をチャンスへ	P.14
④ 少子高齢時代の福祉政策	P.28
⑤ トップセールスの重要性	P.30
⑥ 都市計画とまちづくり（渋滞緩和）	P.34
⑦ ホテルの進出加速と産業誘致	P.38
⑧ 町の財政状況と展望	P.46
⑨ いま、石を投げられてもやるべきことをやる	P.48



財政的により豊かで自立可能な町へ 税収が着実に増えています

▼ 町税収入推移（一般会計決算：収入済額）



参照：大津町決算資料を集計（端数切下げ）

※期間は年度表記のため、「2020」は2020年4月から2021年3月までを指します。

人口増加や企業誘致等によって順調に税収が伸び、ここ2年間はさらに加速しています。町に賑わいが生まれると税収が増えます。それを行政サービスの充実に生かすことで、生活環境や暮らしを維持・向上させながら、更なる賑わいを生むことができます。

町長就任から4年弱。
大津町はどう変化したの？



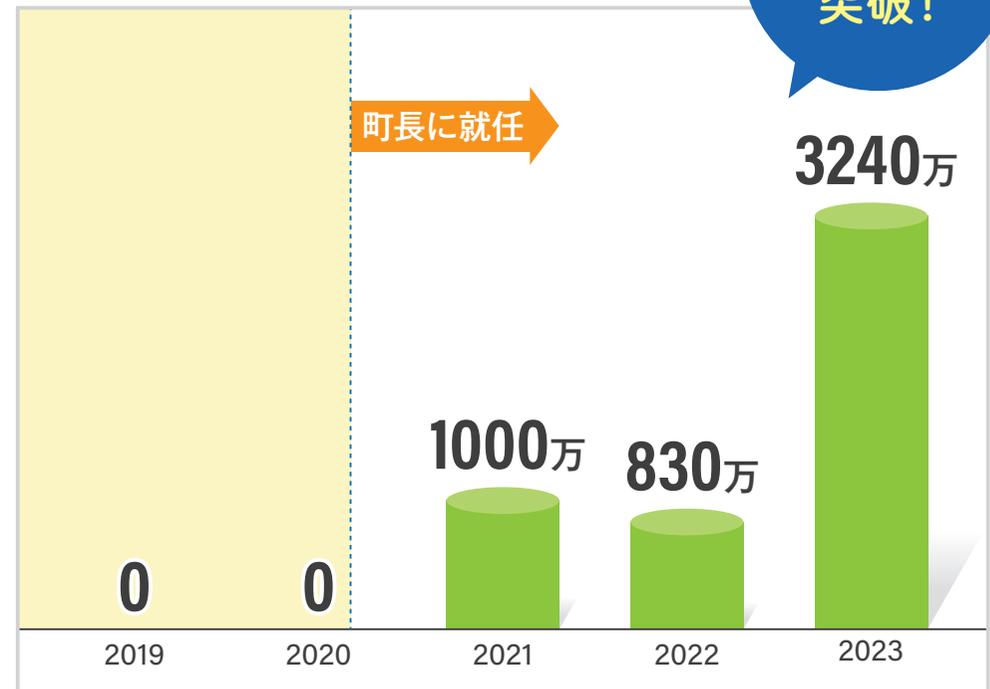
稼ぐ力のある町へ

町税以外の収入も大幅に増えています

▼ ふるさと納税額推移



▼ 企業版ふるさと納税額推移

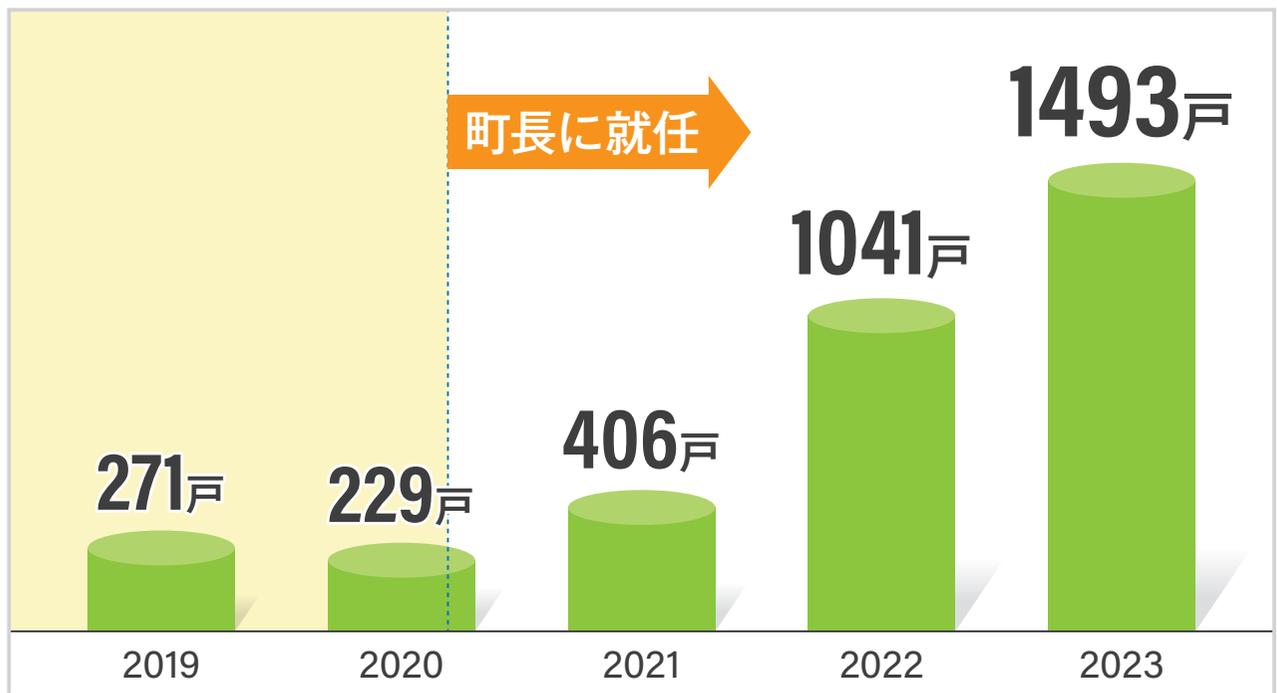


参照：大津町決算資料を集計(端数切下げ)

様々な創意工夫によって、「ふるさと納税」、「企業版ふるさと納税」は共に大幅に増加しています。
その他、新たに複数の「遊休町有地や町有施設の民間への有償貸付」も開始しており、まちづくりの財源確保に努めています。
また、現在は新たに「ネーミングライツ(施設命名権)」や「宿泊税」の導入による新たな収入確保に向けた検討も進めています。

人口減少時代でも持続可能で活気のある町へ 住宅開発や企業進出が加速しています

▼ 開発申請戸数 (戸建て + 集合住宅の室数)



参照: 大津町まちづくり懇談会資料

企業進出

2021年以降の
新規・増設企業数

+

約40社

共に急増!

国内の少子高齢化が加速し、今後50年ほどの間に総人口は約4000万人ほど減少すると予測されています。

そのうち約3000万人が15歳～64歳の生産年齢人口です(※)。

人や企業が増えても暮らしが悪化するばかりなら本末転倒ですが、今後も住みよい町であり続けるために、暮らしの質を確保したうえで将来の担い手や税収も増やす必要があります。

※厚生労働省 第3回社会保障審議会年金部会資料 2023年5月8日

民間と協働する町へ

企業や団体、大学との連携が進んでいます

包括連携協定等

+7団体



自治体と民間企業等が協力して地域課題の解決を目指すための協定です。新たに大学を含む7つの団体と、子ども達の育成、先進技術の活用、民間人材の活用、地域の持続的発展、農業振興などの多岐にわたる分野で取り組んでいます。

大津町高齢者等
見守りネットワーク

+6団体



高齢者をはじめとするすべての町民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、企業や団体の日常業務や活動の中で、ゆるやかに見守りをさせていただく取り組みです。

災害時応援協定

+6団体



災害発生時における支援に関する協定を事前に民間企業や団体と締結することで、より迅速かつ確実な対応に繋げるための取り組みです。

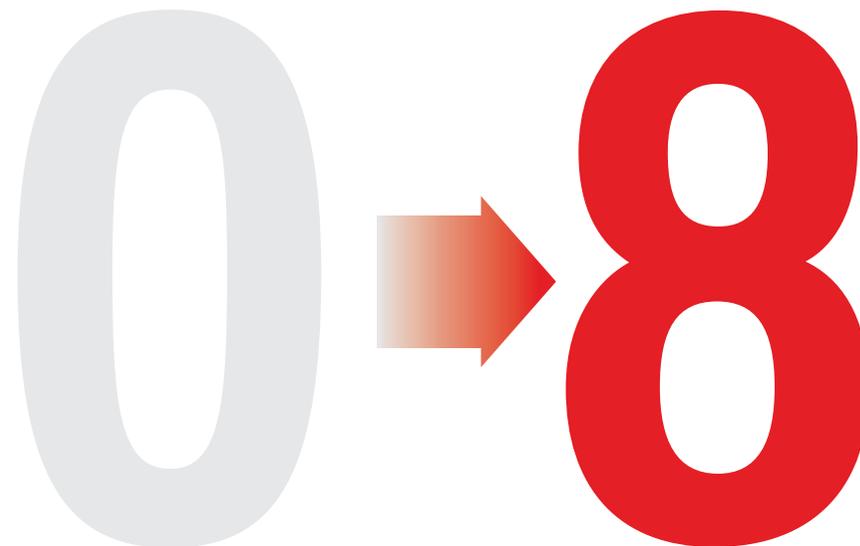
住民ニーズが多様化するなか、役場だけの対処が難しい課題も増えています。

企業をはじめとした諸団体の力をお借りすることで、一人ひとりがより安全安心に、そして充実して暮らせる大津町が実現できるように取り組んでいます。

“地方自治体”としての機能が発揮できる町へ 町の「条例制定権」を生かしています

大津町では、この10年間で約50の条例を制定しています。うち、国の制度変更や法律改正に伴う事務的なものなどではなく、「町独自の政策判断に関連して取り組んだと言える条例」は8つあり、いずれも私の就任以降の4年弱のうちに制定したものです。

まちづくりには様々な制約もありますが、“やるべきものうち、すぐ出来ること”には素早く取り組んでいます。



■制定した条例

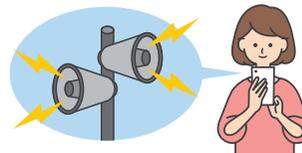
- ①大津町中小企業・小規模企業振興基本条例、②大津町公立保育等再編検討委員会設置条例、③大津町立大津幼稚園民営化に係る事業者選定委員会設置条例、④大津町企業版ふるさと納税基金条例、⑤大津町工業団地整備事業特別会計設置条例、⑥大津町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例、⑦大津町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例、⑧大津町手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例

ICT（情報通信技術）の活用で、より便利な町へ スマートシティ化が急速に進んでいます

役場窓口や税金支払いでの
クレジットカード払い・
QRコード決済



防災無線内容の
LINE通知



公共施設のオンライン予約



各種申請の
オンライン手続き拡大



河川水位予測システム



河川監視WEBカメラ



スマホで使える
LINE版図書館利用
カード



小中学校1人1台
パソコンへのAI学習ソフト



～誰一人取り残さない～
県内初! 移動型スマホ教室



スマホでの
道路や側溝の
不具合報告



スマホでの
鳥獣の目撃や
被害報告



etc.

パソコンやスマートフォン等で利用できる行政サービスを大幅に拡充しました。

今後も情報通信技術（ICT）を利用できる方とできない方との間に生じる格差の解消にも努めながら、更なる充実化を進めます。

コラム 1

町政を前に進める

この4年間、長いものでは10年以上にわたり検討の土台には挙がっていたものの、様々な理由で進んでいなかった多くの事業を進捗させました。

一部を列挙すると、町立幼保育園の再編、太陽光発電施設の規制に関する条例制定、総合運動公園スポーツの森の指定管理移行、職員定数の見直し(増員)、真木簡易水道の移管、南部工業団地給水区域問題の解消、新たな工業団地の整備、遊休町有地や施設の整理と利活用、子ども達の学び舎である学校施設の大規模改修、下水道使用料や国民健康保険税の改定などがあります。また、新たなテクノロジーや外部委託の活用、複数の条例など、まったく新しい取組みも多数進めています。

物事を進めるには、まずは状況を把握・分析して「やること」や「やり方」を決定する必要があります。次に、決定した事業を実際に進めるためには、さらに膨大な時間と労力を要します。よって私は実際に取組みに着手する前に、できる限りのデータや根拠を求めるとともに「目指す成果を最大



化するために何が最善か」を徹底的に考えてもらっています。

こうしたプロセスは、これまでの役場の仕事の進め方とは異なる部分もあり、職員の皆さんの中には戸惑いもあったように感じます。しかしながら、TSMC進出を契機に多くの通常業務も激増する中、職員一人ひとりが住民の皆さまの幸せと町の未来像に向き合い、日々本当に努力してくれています。

また何よりも、こうして町政を前進させることができているのは、住民の皆さまの深いご理解ご協力があったことです。この場をお借りして心から感謝申し上げます。



コラム 2

未来への種をまく

まちづくりには短期でできる取組みもあれば、時間がかかる取組みもあります。だからこそ、未来を見すえた「計画づくり」や「種まき」が必要です。

例えば、菊陽町で進行中の新駅設置は20年以上前からJRへの設置要望がなされています。その後、「菊陽町都市計画マスタープラン」においても具体的に示されている新駅および周辺整備の計画が、今ようやく本格的に動き始めつつあります。また、合志市において2025年3月頃に商業エリアがオープン予定の御代志駅周辺の区画整理事業は、複数年にわたる協議や計画づくり等を経て2018年から事業に本格着手されており、その取組みが計画から10年超を経て一つの区切りを迎えるものです。

いずれも実現までには長い時間を要していますが、両市町では、まずは都市をデザインして種をまき、長年を掛けて着実に進めてきたからこそ、JASM進出発表以降、その整備も加速しています。

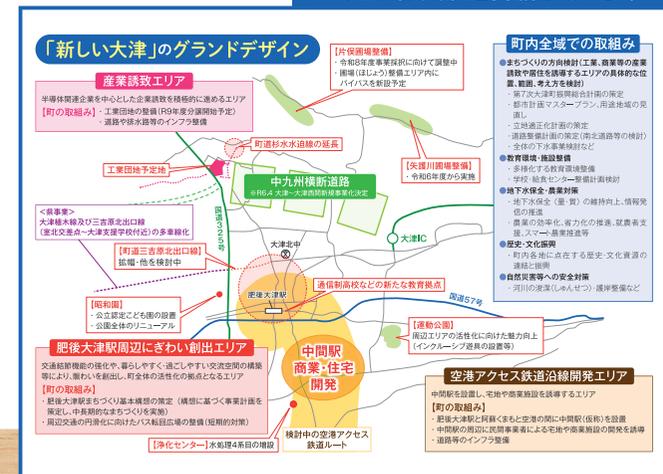
※都市計画マスタープランとは、長期的視点にたった都市の将来像を明確にし、その実現にむけての大きな道筋を明らかにするものです。



一方で、大津町にはこれまで同様の具体的計画はなく、現在お示ししている【大津町の新たな都市デザイン】は、私の就任以降ほぼ何もない状態から創り上げたものです。両市町には随分遅れて種をまき始めたところですが、既に肥後大津駅周辺の再整備、幹線道路の多車線化、町営工業団地や子育て支援拠点整備などは事業が動き始めており、空港アクセス鉄道開通を見すえた中間駅設置と商業・住宅開発についても、調査・分析や協議を始めています。

引き続き、町を取り巻く環境の変化や住民の皆さまの声を十分に踏まえながら、着実に、かつ可能な限り迅速に進めていきます。

P.52に拡大版を掲載しています



新しい大津町をつくる101の具体策

ご報告版

紙面も限られるため、すべての取組みをご紹介するには至っておりませんが、できるだけ簡潔で分かりやすい記載に努めました。

別途、私の公式ウェブサイトにて4年前に作成した「新しい大津町をつくる101の具体策」と「進捗状況の一覧表」を掲載していますので、併せてご覧いただければ幸いです。



金田ひでし
公式ウェブサイト

かなだひでし

検索



政策 01 | まずは、新型コロナ対策に全力!!

政策 02 | 命を守る徹底した災害対策

政策 03 | 子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

政策 04 | 人生100年時代を見据えた福祉
予防と早期治療の徹底と重層的セーフティネット

政策 05 | 活気とにぎわいを生む仕組みづくり

政策 06 | 町内産業支援と活性化

政策 07 | 町民に信頼され、愛される役場へ

まずは、新型コロナ対策に全力！！

- ✓ 様々な観点からコロナ感染拡大防止に努めるとともに、役場の業務遂行体制を整え、感染拡大時にも住民サービスを維持しながら対応してきました。
- ✓ コロナ臨時交付金も活用しながら、住民の皆さまへの生活支援や事業者の皆さまの事業継続に向けた支援を重ねてきました。
- ✓ コロナ禍でも多くの方の健康が維持できるよう、密を避けながら健康づくりができる『オンライン講座』や、スマートフォンを活用した『熊本健康アプリの導入』などを行い、継続的な健康づくりを推進してきました。
- ✓ 『小中学校でのオンライン授業体制』を整え、コロナ禍の学びを支えてきました。
- ✓ コロナ禍で構築した仕組みやサービスを新型コロナの5類移行後も、生かしています。

まずは、コロナ対策に全力!!

町長報酬カットとコロナ対策の充実

具体策01 公衆衛生を徹底する



少しでもコロナ対策財源を確保するため、就任直後から月例報酬を30%カットし、様々な施策を行いながら感染拡大防止に取り組みました。コロナ5類引き下げ以降も報酬カットは継続しています。

まずは、コロナ対策に全力!!

コロナ禍でも取り組める健康づくり

具体策02 自粛期の健康を支える

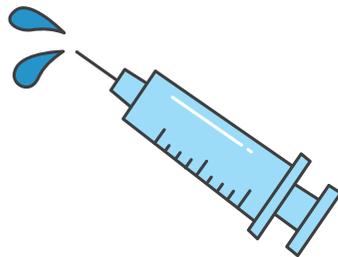


大手民間スポーツクラブから「地域活性化起業人」として人材を受入れながら、オンライン講座やスマートフォンの健康アプリ導入を行うなど、自宅等でも続けられる健康づくりを進めました。

まずは、コロナ対策に全力!!

ワクチン接種負担軽減商品券の配布

具体策03 インフルエンザ予防接種の助成



ワクチン接種に係る負担軽減と地域活性化を目的に、町内で使える商品券を配布。懸念していたインフルエンザとの同時流行の兆候が見られなかったため、コロナワクチン接種への支援を優先しました。

まずは、コロナ対策に全力!!

小中学校でのオンライン授業の実施

具体策04 休校に備えた体制整備



全学校への1人1台パソコンの導入を完了し、Wi-Fiがない家庭にはポケットWi-Fiを貸与。学校閉鎖中の完全オンライン授業を行うとともに、不安な世帯にはオンライン出席を認めるハイブリッド授業で対応しました。

まずは、コロナ対策に全力!!

協力金支給と創業・多角化支援

具体策05 事業者をしっかり支える



感染症対策を行っている事業者等へ複数回の助成を実施。また、ウィズコロナやアフターコロナに対応した創業や業態変化・多角化を支援する「起業創業事業補助金」を創設し、多くの新事業が生まれました。

まずは、コロナ対策に全力!!

蔓延時の事業継続計画(BCP)の見直し

具体策06 役場の業務継続計画を整える



役場の業務継続計画(BCP)の見直しを行い、コロナ蔓延時にも必要な住民サービスが提供できるように体制を強化しました。

コラム3

逆境をチャンスへ

コロナ禍においては感染拡大防止と日常生活の維持を両立させるために様々な取り組みを行いました。

密を避けることに繋がる「スマートフォンのアプリを利用した健康づくり」は、新型コロナ5類移行後も、気軽に取り組める健康づくりの取り組みとして継続しています。

また、学校・学級閉鎖時を中心に、小中学校で実施していたオンライン授業の取り組みは、現在もそれぞれの事情で登校できない児童生徒の学びに生かされています。

さらに、ウィズコロナやアフターコロナに対応した創業や業態変化・多角化を支援する「起業創業事業補助金」で開業した新事業は、今の町の賑わいや活性化に一役買うとともに、起業創業の支援事業はコロナ5類移行も発展的に継続させています。



起きている変化

101の具体策

今後の取り組み

プロフィール

命を守る徹底した防災・防犯対策

- ✓ 『防災無線内容のLINE 配信』や『スマートフォンでの道路損傷個所の通報システム導入』、『監視カメラの増設』、『河川監視カメラの設置・ライブ映像公開』など、ICT(情報通信技術)を活用した安全体制の強化を行いました。
- ✓ 『消えかけの白線や標識、不足しているカーブミラー等を集中的に整備』するとともに、『町内の全街灯をより明るいLEDへ変更』するなど、安全に向けた環境改善を進めました。
- ✓ 『民間企業や団体との災害時応援協定を多数締結』するとともに、『新たな防災士を養成』するなど、重層的に災害対応力を強化しました。
- ✓ 『大津町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例』を制定し、設置抑制地域を設けるとともに、事前確認や設置後の維持管理体制、協議の仕組み等を明確化しました。

命を守る徹底した防災・防犯

ハード整備と安全向上の仕組みづくり

具体策07 町の危険個所の総点検



スマートフォンによる道路損傷等の通報システム導入、カーブミラー等の集中整備、平川の定期浚渫と監視カメラ設置、太陽光発電設備の規制に関する条例制定、浸水想定区域図の作成など、様々な取組みを実施しました。

命を守る徹底した防災・防犯

6つの事業者と災害時応援協定を締結

具体策09 災害時応援協定を充実させる



新たに6つの事業者と、それぞれ物資の優先調達、石油類燃料の供給、防災情報の精度向上等、レンタル機材の提供、災害発生時における協力、施設利用の協力に関する協定を締結しました。

命を守る徹底した防災・防犯

防災計画の見直しと役場機能の強化

具体策08 防災行動計画をしっかりと作る



熊本地震時に職員から寄せられたアンケート結果も生かして地域防災計画の見直しを実施するとともに、職員初動マニュアルを改定しました。

命を守る徹底した防災・防犯

防災士養成講座の実施と指導員任命

具体策10 防災士としっかり連携する



新たな防災士の育成に向けて、近隣市町村との共同で防災士養成講座を開催しました。2024年11月1日時点で防災士連絡協議会員は96名おられ、うち17名の方を防災指導員に任命させていただいています。

起きている変化

101の具体策

今後の取り組み

プロフィール

命を守る徹底した防災・防犯

感染症も踏まえた防災訓練の実施

具体策11 防災訓練の有効性を高める



コロナ禍では町全体での総合防災訓練の代わりに各地区での実践訓練を支援するとともに、役場独自で感染症蔓延も想定した避難所設置訓練を実施しました。

命を守る徹底した防災・防犯

子ども達も楽しく学べる防災取組み

具体策12 子ども達も楽しく学べる防災講座



2024年度の予算で図書館に「防災ゲーム」を導入。また、私自身の防災士としての知識や経験も活かし、町内小学校で6年生を対象に防災クロスロードゲームも取り入れた防災に関する町長講話を行いました。

命を守る徹底した防災・防犯

避難所運営体制の強化

具体策13 避難所の安全性確保と見直し

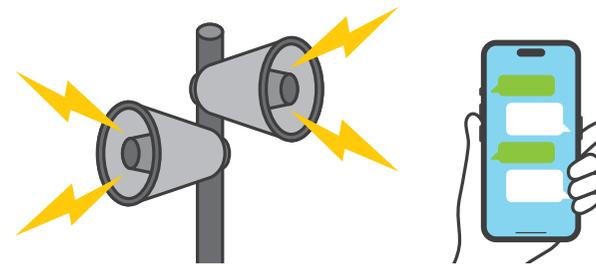


避難所と防災本部を繋ぐ無線機器、および避難状況のリアルタイム管理システム等を導入し、運営体制を強化しました。また、矢護川コミュニティセンターのトイレ洋式化や避難スペース拡張等を行いました。

命を守る徹底した防災・防犯

防災行政無線の拡充とLINE配信

具体策14 防災無線難聴地域への対応

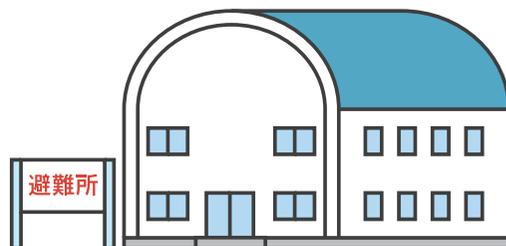


防災無線の音達調査を実施し、結果を踏まえた機器の新設を順次行っています。また、新たに町公式LINEによる放送内容の同時配信や、電話での放送内容聞き直しサービスなどを開始しました。

命を守る徹底した防災・防犯

多様な視点による避難所の環境向上

具体策15 多様な視点による避難所運営



大規模避難所に冷暖房がないことを踏まえ、町総合体育館アリーナの空調設置に向けた設計を進めています。また、障がいのある方や外国人の方もより安心・快適に避難できる環境整備も行いました。

命を守る徹底した防災・防犯

消防団の負担軽減と機能強化

具体策17 消防団の負担軽減と機能強化

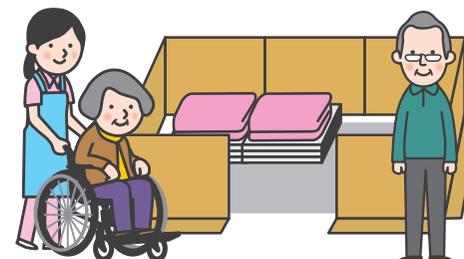


消防団幹部と協議のうえで団員報酬額と支給方法の見直しや、分団活動への運営交付金の創設を行うとともに、各式典や操法大会関連の負担軽減を実施。また、団員の安全向上のために視認性の高い新基準の活動服を導入しました。

命を守る徹底した防災・防犯

福祉避難所の充実

具体策16 福祉避難所を充実させる

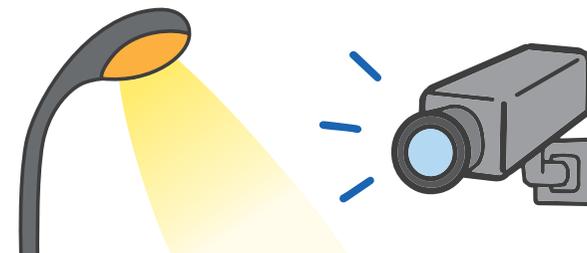


老人福祉センターをはじめとした町内の9か所を、高齢者や障がいのある方等の要配慮者に対して特別の配慮がなされた「福祉避難所」に設定しました。

命を守る徹底した防災・防犯

全街灯のLED化と防犯カメラの増設

具体策18 地域防犯力を強化する



犯罪の起こりにくい地域づくりに向けて、すべての街灯をより明るいLEDに切り替えるとともに、防犯協会と連携しながら4年間で20基超の防犯カメラを新設しました。

起きている変化

101の具体策

今後の取り組み

プロフィール

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

- ✓ 子育て支援の強化に向けて、『18歳までの医療費無償化』、『病児保育の環境整備』、『保育所でのオムツ持ち帰り廃止』、『子育て支援アプリ導入』、『子ども第三の居場所設置』などを実現しました。また、企業版ふるさと納税で資金を集め、大型複合遊具を備えた『インクルーシブ公園』をスポーツの森内にオープンします(2024年12月予定)。
- ✓ 教育環境の強化に向けては、『AIを活用した学習ソフトの導入』や、子ども達の心を支える『スクールソーシャルワーカーの配置』などを進めました。また、台湾の学校との交流や英検受験の機会を増やすなど、国際力・英語力の強化にも取り組んでいます。
- ✓ 子ども達の安全を守るため、大津中学校や護川小学校の大規模改修をはじめ、先送りになっていた施設改修に着手し、計画的に進めています。
- ✓ 新たな町立認定こども園設置に向けた準備を進めるとともに、教育環境の充実に向けて『通信制高校を中心とした教育拠点』を役場庁舎近くの町が保有する空き物件に誘致しました(2025年4月開校予定)。

待機児童ゼロと学童の定員増

具体策19 待機児童ゼロと学童の定員増



2021年4月時点で待機児童ゼロを達成し、次世代型子育て拠点となる「町立認定こども園」の新設計画を進めています。また、児童増加が著しい大津小および護川小の学童を各1教室ずつ増やしました。

ファミリーサポート制度の強化

具体策21 ファミリーサポート制度の強化



ファミリーサポート制度の利用対象年齢を「おおむね10歳まで」から「小学校6年生」までに上げるとともに、協力会員を増やす取組みとして新たな研修会を開始しました。

病児保育開始とオムツ持ち帰り廃止

具体策20 多様な子育て世代を支える



病児保育の受け皿整備や、使用済みオムツの家庭持ち帰りをなくすための保育所への「オムツ処理費用補助」を開始。また、子育ての支援情報がより確実に伝わるよう、町ホームページ内に「子育て支援サイト」を創設しました。

子ども第三の居場所の開設

具体策22 諸団体・NPOとも連携した支援体制



困難な状況にある子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことのできる「第三の居場所」を町内NPO法人への新規委託事業として開始しました。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

スクールソーシャルワーカーの配置

具体策23 多様な子ども達を支える



子どもに寄り添い、様々な困難の解決に向けて支援する「スクールソーシャルワーカー」を配置。また、環境整備として町内小中学校トイレの洋式化や、トイレへの生理用ナプキンの設置などを行いました。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

18歳までの医療費無償化

具体策25 18歳までの医療費無償化



条例改正を行い、2021年10月から18歳までの医療費無償化を開始しています。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

子ども達の声を生かす仕組みづくり

具体策24 当事者の声を生かす仕組みづくり



まちづくりの羅針盤となる大津町振興総合計画(後期基本計画)づくりにあたり、町内初の中学生ヒアリングを実施。その他、アンケートやJLD議会など、様々な場面で子ども達の声を生かしながら取り組んでいます。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

非課税世帯の給食費無償化

具体策26 非課税世帯の給食費無償化



非課税世帯等が対象となる「就学援助(学校給食費の保護者負担額も免除対象)」を、一部世帯が情報不足による未申請を理由に受給できていなかったことから、対象世帯へプッシュ型での郵送通知を開始しました。

ボランティアのチカラをいかす

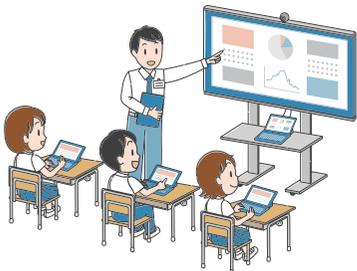
具体策27 ボランティアのチカラをいかす



退職された先生やボランティアの方が中学生3年生に学習支援を行う「地域未来塾」を継続。また、私自身も地域の方々と共に小学校の読み聞かせボランティアとして参画しています。

1人1台パソコンとAI学習ソフトの導入

具体策29 最先端の教育環境を整備



小中学校の1人1台パソコンの配備を完了。AIを活用した学習ソフトを導入することで「一人ひとりの習熟度に応じた問題の自動生成」などの個別最適な学びを強化しています。

郷土愛をしっかりと育てる

具体策28 郷土愛をしっかりと育てる



町の歴史文化・行事を継承するとともに「大津夜市」等の子ども達を中心とした新たなイベントを創出。また、私自身が講師となり各中学校やジュニアリーダー夢議会等で、町の歴史や将来像に関する講話を行いました。

教職員の指導力向上

具体策30 夢を叶える力を養う



新たな教育ソフトの導入によって、「指導者(教職員)側からの児童生徒の理解度の見える化」を図り、教育効果の可視化とデータに基づいた指導に繋がっています。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

幼児教育の充実

具体策31 生き抜く力を養う



町内保育所において、「幼児教育アドバイザー」による年間を通して13回の園内研修を実施。また、外部講師による幼児教育・保育研修を行いました。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

子ども達への多様な機会を創る

具体策32 幅のある人間力を養う



町内複数の小学校で台湾の小学生とのオンラインや対面交流を実施。また、町内企業の協力を得て、大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーで生物学者の福岡伸一氏による読書会を開催しました。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

英検への助成強化とAI英語ドリルの導入

具体策33 国際化に備えた使える英語教育

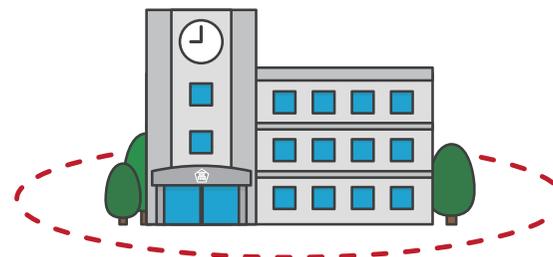


英検受験への助成を継続するとともに、受験料の増額に合わせた助成費用の引き上げを実施。また、AI英語ドリルの導入や、すべての中学3年生の英検受験機会を確保する取り組みを開始しました。

子育て支援・教育環境日本一のまちづくり

公立高校学区外枠の拡大への要望

具体策34 公立高校学区外枠の拡大



知事や県幹部との意見交換を実施。少子化が進む中、他の市町村では学区外枠拡大による地元高校の生徒数減少への危惧も強い傾向にありますが、引き続き、大津町としての考えや改善案を伝えていきます。

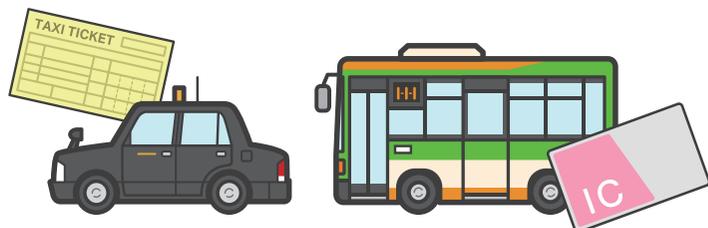
人生100年時代を見据えた福祉

- ✓ 住み慣れた地域での生活を支えるための『JA移動販売車の拡大』や、公共交通インフラの維持・強化という観点からの『まちなかバスの導入』、『免許返納者へのタクシー券等の交付』、さらに『移動型スマホ教室開催』などの新たな事業を展開しています。
- ✓ これまでの取組みに加え、大手スポーツクラブから職員を受け入れて民間企業の知見も活かした取り組みを行い、健康寿命の延伸を図りました。スポーツの森などの指定管理移行による『スポーツジムのリニューアルや利用時間延長』、『定期的なインボディ計測会の開催』など、新たな取組みが始まっています。
- ✓ 『町内の企業・団体との見守り協定締結』や、『役場相談窓口の機能強化』などによって、地域での見守りや相談体制を一層充実させることで、より安心して暮らせる地域づくりを進めています。

人生100年時代を見すえた福祉

巡回バスと免許返納支援制度の開始

具体策35 乗合タクシーの充実とまちなか巡回バスの実現



町中心部での施設間移動を充実させるため、大津まちなかバスの運行を開始。また、運転免許証を自主返納する65歳以上の方に対し、タクシー券とバスICカードの計15,000円分を支援する制度を開始しました。

人生100年時代を見すえた福祉

健康アプリ導入とインセンティブ付与

具体策36 病気・介護予防と早期治療体制を整える



健康づくり活動を行うことで様々な特典を得られるポイントが付与されるスマートフォンの「熊本健康アプリ」を導入し、日々の健康づくりや健診受診の促進に繋がっています。

人生100年時代を見すえた福祉

民間のノウハウを生かした健康づくり

具体策37 本当に効果のある健康づくりを推進



民間企業から人材が派遣される「地域活性起業人」の制度を活用して、大手スポーツクラブから職員を受け入れ、インボディ測定や運動教室等において企業ノウハウやデータに基づく取組みを進めています。

人生100年時代を見すえた福祉

地域の健康づくりの場を充実させる

具体策38 地域に健康づくりの場を創る



地域でのグラウンドゴルフや寄り合い等の経費の一部を助成する地域づくり活動支援事業を継続するとともに、スポーツの森の指定管理移行を経て、トレーニングジムのリニューアルや開館時間の延長を行いました。

人生100年時代を見すえた福祉

セカンドライフを支援する

具体策39 セカンドライフを支援する



就労的活動支援コーディネーターの役割拡充等により、「ふくしの相談窓口」と連携した、退職後のセカンドライフの充実に向けた取組みを開始しました。

人生100年時代を見すえた福祉

ふくしの相談窓口の開設

具体策41 地域のチカラを生かす



障がい者相談支援センター、地域包括支援センター、くらしの相談窓口を集約し、複数の課題へ総合的に寄り添う「ふくしの相談窓口」を開設。解決に向けては、関係する機関と連携して横の繋がりで対応しています。

人生100年時代を見すえた福祉

手話言語条例の制定と公共交通の充実

具体策40 いつまでも住み慣れた環境で



手話言語等の多様なコミュニケーション手段の利用促進に関する条例と仕組みづくりを行うとともに、免許返納支援制度やまちなかバスによる公共交通充実、JA移動販売車の巡回エリア拡大などを行いました。

人生100年時代を見すえた福祉

民生委員を支える

具体策42 民生委員を支える



「ふくしの相談窓口」の開設によって、民生委員に対しても複雑化する課題への支援体制の強化を図りました。また、役場から民生委員へ提供する情報内容や共有の在り方について協議を進めています。

起きている変化

101の具体策

今後の取り組み

プロフィール

人生100年時代を見すえた福祉

認知症相談窓口の充実

具体策43 認知症相談窓口の充実



ふくしの相談窓口にも、認知症も含めた複雑化した課題を包括的に受け止める支援体制を構築するとともに、窓口には専属の相談員を配置することで、来所をきっかけとした認知症の早期発見とケアにも繋げています。

人生100年時代を見すえた福祉

認知症サポーター既取得者研修の実施

具体策44 認知症サポーターの仕組みを機能させる

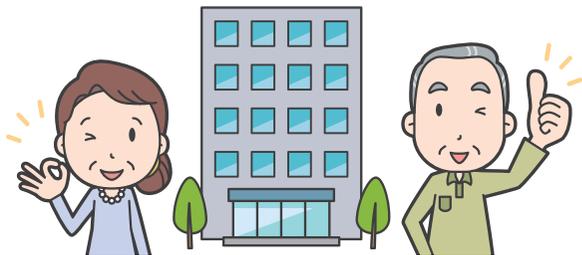


認知症サポーター研修を受けた方が更なる知識・スキル向上を目指すことができる場として、認知症サポーター既取得者研修を実施しました。

人生100年時代を見すえた福祉

企業・団体との高齢者見守り協定締結

具体策45 企業・団体の力を借りた高齢者支援



大津町高齢者等見守りネットワークの手引きを見直すとともに、肥後大津ロータリークラブや大津町商工会、その他4つの民間企業と、高齢者等の見守りに関する協定を締結しました。

人生100年時代を見すえた福祉

福祉施設の働き手不足への対応

具体策46 施設入所難民の解消



就労的活動支援コーディネーターの役割拡充によって、福祉施設でのボランティアや就労に関心のある方と施設をマッチングすることで、働き手不足の解消に繋げる取り組みを開始しました。

人生100年時代を見すえた福祉

困窮者の生活再建を支える

具体策47 困窮者の生活再建を支える

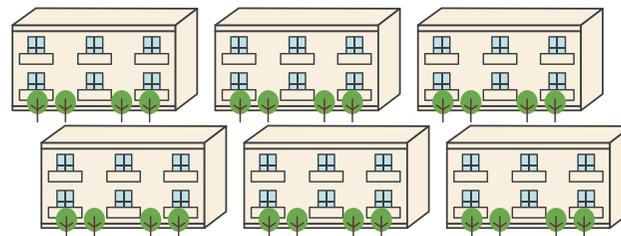


社会福祉協議会との連携による支援に加え、新型コロナや物価高騰に対する町独自施策として、生理用品の提供や、住民税均等割のみ課税世帯への給付金およびLPガスを使用する全世帯への支援金の支給などを実施しました。

人生100年時代を見すえた福祉

仮設団地での支援ノウハウを生かす

具体策48 仮設団地での支援ノウハウを生かす



行政区嘱託員、民生委員・児童委員、地域福祉推進員が集う地域福祉懇談会において、熊本地震の経験も踏まえた意見交換を実施。また、各行政区で地域防災計画や避難計画づくりなどの地域防災活動を推進しました。

人生100年時代を見すえた福祉

暮らしの再建を継続して支える

具体策49 暮らしの再建を継続して支える



地域支え合いセンターの閉鎖後も、必要とする方を既存の福祉施策にお繋ぎして支援を継続しました。また、社会福祉協議会および町内郵便局と連携してフードポストを設置し、年越しの食料配布などを行いました。

コラム4 少子高齢時代の福祉政策

町民の皆さまが末永く安心して充実した暮らしを送るためには、①健康でいつづけられること、②見守りや相談の体制が整っていること、③財政・人財面も含めて持続性が確保されていることの3つが大切だと考えています。

急激な少子高齢化が進むなか、これまで通りのやり方には限界がきています。環境整備に向けてはこれまでの取組みに加え、健康寿命の延伸には民間のノウハウやICT(先進技術)を生かしながら、また、見守りや相談には企業や団体、近隣住民の皆さまの力をお借りしながら進めています。

起きている変化

101の具体策

今後の取り組み

プロフィール

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

- ✓ 町中にある使われていなかった『複数の町有施設の商工会や通信制高校への有償賃貸』を開始しました。また、『矢護川コミュニティセンターの習い事教室への時間貸し』も始めており、幅広い年齢層の方にご利用いただいています。これまで活用されていなかった施設を有効に活用することで、町の新たな収入を得ながら地域の活性に繋がっています。
- ✓ 『歴史文化伝承館への新たなICT機器の導入』や『肥後大津駅南口ビジターセンターへのくまモンベースの誘致』など、各所の機能強化やリニューアルを進め、利用者も増えています。
- ✓ 『肥後大津駅周辺整備』、『空港アクセス鉄道中間駅設置および商業・住宅エリア開発』、『三吉原北出口線多車線化(翔陽高校北側の道路)』など、具体的な計画を描き、着実に進めています。また、町の急激な変化に対応して、都市計画の基本的な方向性を示す『大津町都市計画マスタープラン』の大幅な前倒しでの見直しを進めています。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

新駅設置へのグランドデザインづくり

具体策50 「スポーツの森駅の新設」と周辺エリアの整備・活性化

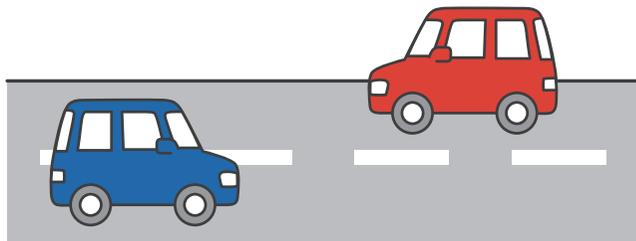


スポーツの森駅設置に係る可能性調査(外部委託)では様々な課題により短期での実現は困難との結果が出ましたが、空港アクセス鉄道沿線での中間駅の新設と商業・住宅エリアの整備実現に向けて取り組んでいます。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

南北新道路整備に向けた計画づくり

具体策52 南北縦断道路の新設



専門事業者による交通量の調査・分析を実施。結果も踏まえて、前倒しでの見直しを進めている「大津町都市計画マスタープラン」や「道路整備計画」の中で、より具体的な道路計画を立てていきます。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

新たな商業施設(モール)の誘致推進

具体策51 アウトレットモールを誘致しよう



中間駅周辺を基本軸として、アウトレットモールを含め「町内商業施設と競合しづらく、町民の利便性向上と町外からの誘客増加に繋がる商業施設」の誘致に向けて市場分析や企業へのアプローチを進めています。

コラム5 トップセールスの重要性

自治体のトップセールスは首長自らが特産品等を外部へ売込むことに留まらず、企業誘致活動や国等への要望活動でこそ、より大きな効果を発揮すると感じています。

数字などの確たるデータを用いながら、トップ自ら企業に対して町への進出メリットを伝えて誘致活動を行うことや、国の各省庁に向いて町の実情を伝えつつ必要な要望を重ねることは実現への効果が非常に大きいと実感しています。

今後も町の外へもどんどん飛び出しながら、トップセールスを行っていきます。

起きている変化

101の具体策

今後の取り組み

プロフィール

活気にぎわいを生む仕組みづくり

阿蘇くまもと空港への新道路

具体策53 阿蘇くまもと空港への新道路



鳥子川交差点から空港大地へ至る「岩坂鳥子線(仮称)」に係る道路の概略設計を実施。今後、優先順位を付けながら整備を進めていきます。また、滑走路下のトンネルの代替ルート整備を県に対して要望しています。

活気にぎわいを生む仕組みづくり

生活道路の渋滞緩和

具体策54 生活道路の渋滞緩和

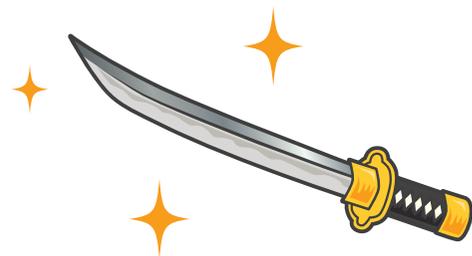


交通量分析を踏まえての信号表示時間の変更、マイカーを減らすための まちなかバスや通勤バスの実証運行などを実施。また、三吉原北出口線(翔陽高校北側道路)の多車線化と交差点改良に取り組んでいます。

活気にぎわいを生む仕組みづくり

復旧インフラや復興シンボルを生かす

具体策55 復旧インフラや復興シンボルを生かす



ONE PIECEゾロ像の関連イベントを行うとともに、復旧したJR豊肥本線の肥後大津駅に「くまモンベース」を整備。また、県の進める「熊本地震 記憶の廻廊」で江藤家住宅や瀬田神社巨石等を地域拠点に設定いただきました。

活気にぎわいを生む仕組みづくり

大型複合遊具を備えた公園の新設

具体策56 多様な公園づくり

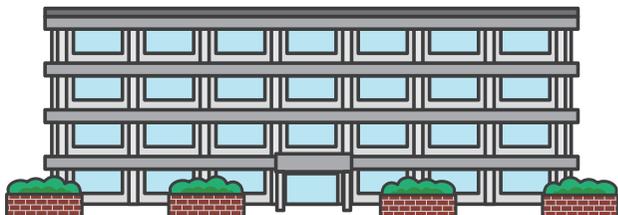


障がいのある子ども達も伸び伸び遊べる大型の「インクルーシブ複合遊具」等を備えた新たな公園をスポーツの森に整備します(2024年12月完成見込み)。また、昭和園のリニューアルにも取り組んでいます。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

遊休町有施設の有償貸付の開始

具体策57 ハコモノを有効に活用する



町有の空き施設だった旧地域包括支援センターを商工会事務所、旧電算室を通信制高校やリカレント教育等の拠点として、民間へ有償貸与。歴史文化伝承館やビジターセンターもリニューアルし、利用者も増えています。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

空き家利活用への補助制度の創設

具体策59 新しいカタチの空き家対策



倒壊の恐れのある「危険空き家」の対策のため、家屋解体への助成制度を創設。また、利用可能な空き家の活用を促進するため、購入や賃貸のための家屋改修等に利用できる助成制度も創設しました。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

矢護川コミュニティセンターの改修

具体策58 地域公民館を大切にする

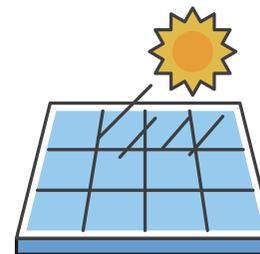


避難所でもある矢護川コミュニティセンターへ洋式トイレやシャワースペース設置。また、避難スペース拡張等を行うとともに、子ども達や高齢者向けのスポーツ・語学講習等を行う民間企業への一部貸出を始めました。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

太陽光発電設備規制条例の制定

具体策60 持続可能な自然と共生するまちづくり



危険想定地域での太陽光発電施設の建設を抑制するとともに、既存施設を適正に維持管理するために「大津町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例」を制定しました。

起きている変化

101の具体策

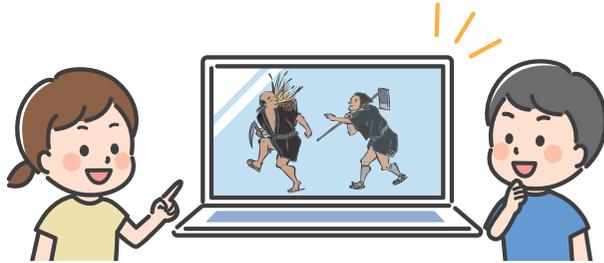
今後の取り組み

プロフィール

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

歴史文化伝承館のパワーアップ

具体策61 歴史文化伝承館を一層生かす

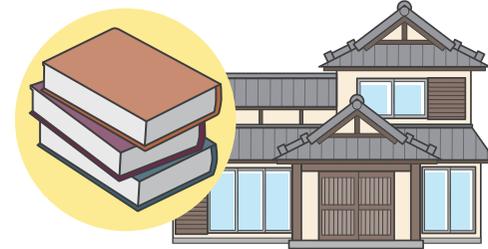


歴史文化伝承館の魅力化と利用推進に向けて、専属の副館長を配置し、図書館とのコラボ企画や、新たな機材やICTを活用した情報の発信などを進めています。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

物語を大切にした歴史文化継承

具体策62 物語を大切にした歴史文化継承



国指定重要文化財「江藤家住宅」の一般公開を再開するとともに、歴史をまとめた冊子を作製。また、建造物や無形民俗文化財等の町内指定文化財の情報を整理し、一覧として町ホームページに掲載しました。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

歴史文化の担い手を育てる

具体策63 歴史文化の担い手を育てる



歴史文化伝承館において町内の史跡をテーマにした映像を制作。また、各小学校の企画展や見学会の受け入れ、ウォーキング教室などの各種イベントとタイアップした取り組みを行っています。

活気とにぎわいを生む仕組みづくり

図書館と公民館講座のパワーアップ

具体策64 文化的な取組みを充実させる



図書館へのデジタルサイネージ(電子掲示板)導入、図書館ホームページでのこどもページ新設や多言語表示などを進めています。また、公民館ではスマホやドローン教室など、時代に即した新たな講座づくりを行っています。

起きている変化

101の具体策

今後の取り組み

プロフィール

無関心層にも届く情報発信

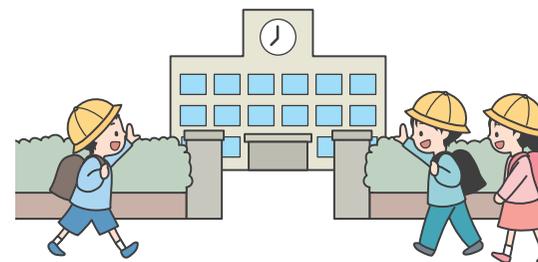
具体策65 無関心層にも届く情報発信



町公式LINEの登録者数を増やすとともに「防災無線情報の同時配信」や「セグメント配信」等の新機能を追加しました。また、デザインや情報発信等を担う新たな地域おこし協力隊を配置して情報発信を強化しています。

学校を核とした地域活性

具体策66 学校を核とした過疎対策



町内の全7校区を対象に、地域計画を踏まえた地区・校区別の「まちづくり町民懇談会」を毎年開催しています。また、大津中学校の大規模改修をはじめ、学校施設の計画的な建替え・改修を進めています。

コラム 6

都市計画とまちづくり（渋滞緩和）

多くの施策のなかで、特に時間を要するのが道路整備です。現在は大津町で初めて実施した「交通量分析」の結果も踏まえ、道路整備計画を作成中です。多大な予算と時間を要するからこそ、調査・分析に基づいた計画を立てて、できる限り早く、そして予算面も含めて最善の手法で整備を進めていきます。

また一方で、短期的取組みとしては、信号の表示時間調整、通通勤時の産業バス実証運行などを進めており、一定の効果が出ています。さらに中期的取組みとしては、右左折レーンの増設・延長、矢印信号の導入、生活道路整備等も検討しています。

既に着手している大型の道路整備事業としては、「三吉原北出口線の多

車線化(翔陽高校北側道路)」、「肥後大津駅周辺のバス転回スペース整備」などを進めています。また、熊本市と大分市を結ぶ高規格道路である「中九州横断道路 大津道路」も国への要望を重ねて、2024年4月に悲願の事業化に至りました。

いずれも職員の努力もあって行政としては異例の速度で進んでいますが、住民の皆さまが期待するスピードとはかけ離れていることも理解しています。

取組みの一方では開発の加速によって日を追うごとに車両が増加している状況ですが、短中長期の取組みを並行しながら着実に進めていきます。

町内産業支援と活性化

- ✓ 農業振興に向けては、『スマート農業を推進するための交付金を創設』し、町農業の効率化・省力化を進めています。また、『有害鳥獣の出没・被害情報をスマートフォンで町へ通報できるシステムの導入』や、『電気牧柵・箱罟等の導入への支援強化』を進め、被害抑制を図っています。
- ✓ 商工業振興に向けては、新たな制度を創設することで、IT企業やコンサルティング企業をはじめとした『産業支援型企業3社の誘致』や、飲食から美容、ジム等の多岐にわたる分野での『25件を超える新規事業創出』に繋がりました。また、更なる産業集積に向けた新たな工業団地の整備を進めています。
- ✓ 町全体の産業活性化に向けて、ANA(全日本空輸)やJTBからの職員を受け入れ、民間の視点も生かした観光政策に従事してもらいました。また、観光協会や商工会をはじめとした町内諸団体と連携し、新たなイベント『大津夜市』を創出し、多くの方にご来場いただいています。

町内産業支援と活性化

徹底した鳥獣・病害対策

具体策67 徹底した鳥獣・病害対策



有害鳥獣の出没や農作物被害の状況等をスマートフォンで町へ速やかに報告できる仕組みを導入。また、鳥獣被害の増加に対応してイノシシ等の捕獲報奨金や、電気柵・箱罠導入補助への予算を増額しました。

町内産業支援と活性化

農家からの多様な相談への体制整備

具体策69 農家からの多様な相談への体制整備



6次産業化やスマート農業への転換等の相談に対し、当該取組みに活用可能な「起業創業事業補助金」、「スマート農業推進支援事業補助金」を創設するとともに、農業委員会の職員を増員しました。

町内産業支援と活性化

安定して稼げる農業支援

具体策68 安定して稼げる農業支援



物価高騰等に対する農家補助を複数回実施。また、企業進出による代替農地需要に対応するため、杉水から矢護川に通じる大型農業車両が通行可能な道路整備に取り組んでいます。

町内産業支援と活性化

スマート農業機器の導入助成

具体策70 農業先進機器の導入を助成



農作業の効率化や省力化のため、先進農業機器の導入に対する購入経費を補助する「スマート農業推進支援事業補助金」を創設し、町全体での農業のスマート化に繋がっています。

町内産業支援と活性化

地産地消と食育を推進する

具体策71 地産地消と食育を推進する

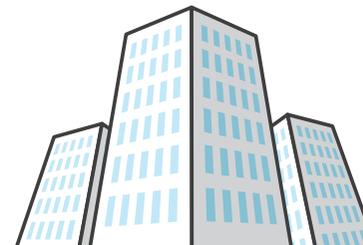


食生活改善推進員の担い手の育成に向けて養成講座(全8回)を開催。また、子ども達への食育および地産地消促進を目的に「給食ができるまで」の動画を作成し、小中学校の給食週間に放送しました。

町内産業支援と活性化

産業支援型企業誘致と地場産業強化

具体策72 産業支援型企業の誘致による地場産業の強化



企業進出を促すための新たな制度創設やトップセールスも含めた様々な取り組みを行うことで、ITをはじめとした3社の産業支援型企業を誘致し、町内企業との連携も生まれています。

町内産業支援と活性化

マーケティング人材の登用

具体策73 「マーケティング専門官」登用による産業活性



“複業人材”として民間の「マーケティングアドバイザー」2名を任期付きで登用。その後、地域活性化起業人としてANAやJTBから人材を受け入れ、観光政策やふるさと納税関連業務に従事してもらっています。

町内産業支援と活性化

地域でお金を回す仕組みづくり

具体策74 地域でお金を回す仕組みをつくる

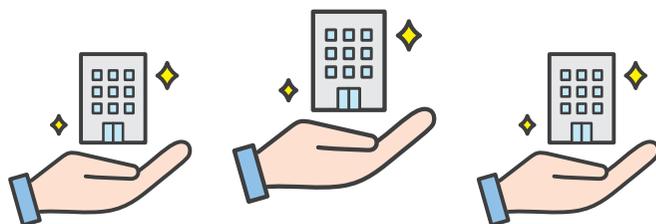


コロナや物価高騰への支援として、町内でのみ利用可能な商品券を複数回配布しました。また、市場での適正価格は踏まえたうえで、町内で調達可能な製品やサービスは地域内で調達しています。

町内産業支援と活性化

地場産業と新規創業者を応援する

具体策75 地場産業と新規創業者を応援する



新規創業や多角化等への創業支援補助金を創設し、飲食や美容、ジム等の多岐にわたる分野で25件超の新事業が誕生。また、中小企業・小規模企業振興条例の制定や台湾誘客セミナーの実施などにも取り組みました。

町内産業支援と活性化

お金の流れを生む観光政策

具体策77 お金の流れを生む観光政策



ANAやJTBからの人材を受入れ、民間の視点も生かした観光政策に従事してもらっています。また、町の玄関口となる肥後大津駅周辺の活性化や渋滞緩和に向けて、肥後大津駅の周辺整備を進めています。

町内産業支援と活性化

大津夜市と商店街連携事業の開始

具体策76 地域経済の相乗効果を高める



地域の相乗的活性に向けて、役場敷地での「大津夜市」を開始。また、駅周辺を中心に、商工会および町内4つの商店街(繁栄会)の更なる活性化と連携強化に向けた新たな事業を行いました。

コラム7 ホテルの進出加速と産業誘致

ホテル等の宿泊施設は飲食や買い物など、地域経済への波及効果が大きく、また、温泉がある宿泊施設からは入湯税も見込めます。こうしたことからホテルの誘致にも積極的に動いています。

こうした中、TSMC 進出発表以降、大津町へのホテル進出が加速しており、発表済み分だけで新たに5棟1200室ほどが出来る見込みです(現在約1000室)。

町の活気が増せば様々な施設やサービス事業者の誘致もしやすくなります。住民の皆さまが町内でより多くのサービスを選択して利用できるよう、引き続きの誘致活動に努めます。

町民に信頼され、愛される役場へ

- ✓ 『まちづくり懇談会』や『SNSによる情報発信』などの住民参画推進に向けた取組みを強化するとともに、『クレジットカードやQR決済』、『各種手続きのオンライン化』などのICT(情報通信技術)を活用した利便性向上を進めました。
- ✓ 公務員の成り手不足も叫ばれるなか、『非公務員型採用試験による民間企業等からの中途採用』を導入することで、受験者の確保と役場職員の多様性の向上を進めました。また、大津町初の女性副町長や女性部長の誕生、係長以上の層の女性比率向上など、女性の活躍も進んでいます(※)。
- ✓ 役場全体における業務量調査を行い、業務内容や手順、職員定数の見直しなどを進めました。
- ✓ 『ふるさと納税の強化』や『遊休町有地の貸付』などの歳入獲得に向けた取組みを強化するとともに、歳出の在り方についても見直しを行いました。

(※)町長の退職金を廃止(退職積立金を停止)することで生まれる財源を原資の一部として、「民間公募の女性幹部」を登用する具体策87を示していましたが、退職金の引受団体となる熊本県市町村総合事務組合と協議を重ねたものの、同会の規約により退職積立金の停止ができませんでした。結果的には、新たな予算は用いずに民間での勤務経験もある方を女性副町長として登用するとともに、「地域活性化起業人」という国の事業を活用して、総務省から1人につき年間で最大560万円(100%国補助/町負担なし)の支援を受けて、ANA、ルネサンス、JTBから社員各1名ずつを1年から最長3年間にわたり役場に派遣してもらい、業務に従事いただいています。

町民に信頼され、愛される役場へ

適切な事務執行と情報公開

具体策78 情報の公開の徹底



まちづくりの羅針盤である「振興総合計画(後期基本計画)」を住民参画型でつくり、計画に基づく取組みを行っています。また、適正な事務の執行と情報公開に向けて内部統制制度を段階的に導入しています。

町民に信頼され、愛される役場へ

まちづくり町民懇談会の定期開催

具体策80 町民と町長の座談会

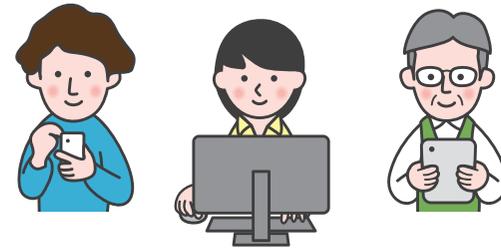


タウンミーティングとして「大津町まちづくり町民懇談会」を毎年開催しています。※1年目 オンラインを含む全4回、2年目 テーマ別懇談を含む全5回、3～4年目 小学校区別の全7回

町民に信頼され、愛される役場へ

町ホームページのリニューアル

具体策79 情報発信の徹底



町ホームページのリニューアルを行うとともに、子育て支援やオンライン手続き等のページを新設。また、町公式LINEに利用者が特定属性の情報のみを選択して受信できるセグメント配信機能を追加しました。

町民に信頼され、愛される役場へ

少数の声の反映

具体策81 少数の声の反映



振興総合計画の策定審議会の委員として若者団体等の新たな層に加わっていただくとともに、中学生へのヒアリングや意見交換を行いました。また、熊本県内で2番目となる「パートナーシップ証明制度」を導入しました。

起きている変化

101の具体策

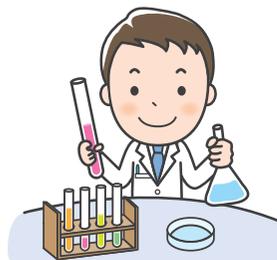
今後の取り組み

プロフィール

町民に信頼され、愛される役場へ

大学や研究機関との連携

具体策82 大学や研究機関との連携



東海大学の県内2キャンパスと農業やまちづくり等の幅広い分野における包括連携協定を締結。また、別途多数の企業や団体と連携協定を締結し、防災や生活利便性の向上など、様々な取組みを行っています。

町民に信頼され、愛される役場へ

区長との協力・支援体制強化

具体策83 区長との協力・支援体制強化



区長に対してより確実に情報を届けるため、着信確認付きの電話自動発信による音声案内システムを導入。また、道路や側溝等の不具合を区長だけでなく、すべての住民がスマホで町へ直接報告できるようにしました。

町民に信頼され、愛される役場へ

ボランティアの活動支援

具体策84 ボランティアの活動支援



議員時代から創設を提言していた市民活動支援補助金(まちづくり担い手育成事業補助金)の制度を継続しています。

町民に信頼され、愛される役場へ

役場の接遇力(おもてなし力)の向上

具体策85 役場の接遇力(おもてなし力)の向上



全職員を対象とした接遇力研修を実施しました。また、電話対応マニュアルを提供するとともに、庁内メールにて随時、事例共有をはじめとした啓発を行っています。

町民に信頼され、愛される役場へ

役場の多様性の確保

具体策86 役場の多様性の確保



ANA(任期満了)、JTB、ルネサンスから人材を受け入れています。また、非公務員型採用試験による中途採用を開始し、民間や大津町以外の役所での業務を経験している職員も増えてきました。

町民に信頼され、愛される役場へ

大津町初の女性副町長と女性部長の任用

具体策87 民間公募の女性幹部職員の登用



女性幹部として大津町始まって以来の女性副町長を任用しました(非公募)。また、係長層の女性割合も高まっており、大津町役場初の女性部長も誕生しています。

町民に信頼され、愛される役場へ

職員自らの業務・サービス改善

具体策88 職員自らの業務・サービス改善

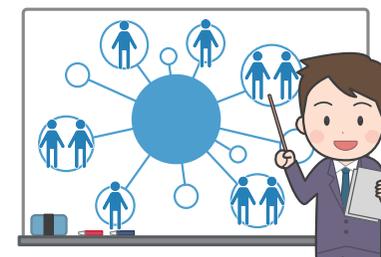


職員自らが主体となってテーマを設定して運営する、手上げ方式の「大津町職員チャレンジ・グループ活動支援金」を創設。また、全職員向けのアンケートを行い、改善可能な内容を反映しました。

町民に信頼され、愛される役場へ

業務量分析を生かした組織改善

具体策89 効率的な組織運営



民間事業者に委託し、役場全体の業務量の把握・分析を行いました。結果を基にして適正な人員配置、および業務の外部委託や自動化を含めた業務全体の効率化や業務品質向上などの改善に繋げています。

起きている変化

101の具体策

今後の取り組み

プロフィール

町民に信頼され、愛される役場へ

仕事の目標設定の見直しと実現力の向上

具体策90 仕事の目標設定を見直す

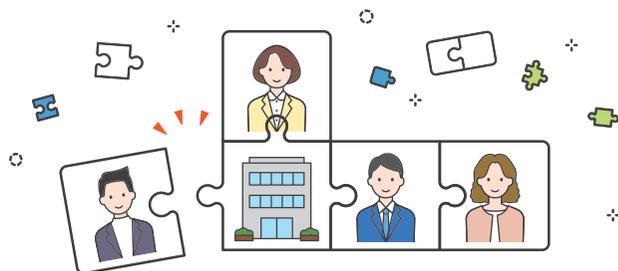


振興総合計画づくりにあたり、目標指標を大幅に見直しました。また、目標達成に必要な力を養うロジカルシンキング研修や大手民間企業の第一線で活躍する方を講師とした実現力講座などを実施しました。

町民に信頼され、愛される役場へ

計画的な職員育成と合理的な配置

具体策92 計画的な職員育成と合理的な配置



係長層向けの「チームビルディング研修」を実施。また、従前よりも職員の適性や異動希望を踏まえた配置を行うとともに、少数の職員しかいない出先事業所への新人職員の配置を原則取りやめました。

町民に信頼され、愛される役場へ

頑張る職員を正に評価する

具体策91 頑張る職員を正に評価する



職員一人ひとりの目標設定から自己評価、上司評価等を一体的に管理できる新たな「人事評価システム」を導入し、評価の適正化および厳格化に取り組んでいます。

町民に信頼され、愛される役場へ

クレカ・QR決済と施設WEB予約の導入

具体策93 業務分析やICTの積極導入

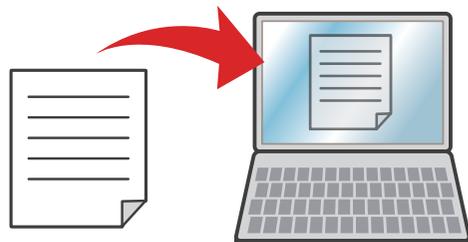


税金や窓口支払いでのクレジットカード・QR決済を導入するとともに、公共施設のWEB予約等の新たなオンライン申請受付を開始。また、移動型スマホ教室やデジタルこども手帳などの多様な取組みを始めています。

町民に信頼され、愛される役場へ

不要な押印の廃止とICTを活用した改善

具体策94 各種業務書類や手順を見直す



生産性向上に向けて、不要な押印項目の洗い出しを行い、見直しを実施しました。また、専門職員(DXスーパーバイザー)を配置し、ICTを活用した業務の効率化を進めています。

町民に信頼され、愛される役場へ

縦割り行政を解消する

具体策96 縦割り行政を解消する



目まぐるしい環境変化へ部署横断的に取り組むために町長をトップとしたTSMC推進本部を設置するとともに、町長直轄での政策推進のため「政策秘書係」を新設しました。

町民に信頼され、愛される役場へ

課題の元を断つ環境改善

具体策95 課題の元を断つ環境改善



福祉分野では「ふくしの相談窓口」、子育て分野では「子育て世代包括支援センター」を設置。また、小中学校に児童生徒が抱える様々な問題の解決を担う「スクールソーシャルワーカー」を配置しました。

町民に信頼され、愛される役場へ

遊休町有施設の活用と町営住宅の再編

具体策97 公共施設を適切に運用する



歳入確保と地域活性を目的に、町有の空き物件だった旧電算室を通信制高校、旧地域包括支援センターを大津町商工会への有償貸与を開始。また、町内に約800室あり空き室も増えている町営住宅の再編計画を進めています。

起きている変化

101の具体策

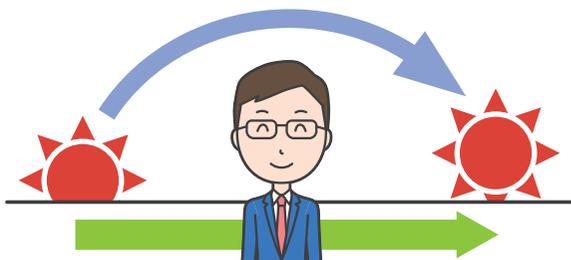
今後の取り組み

プロフィール

町民に信頼され、愛される役場へ

サンセット方式の導入

具体策98 安易な事業継続はしない

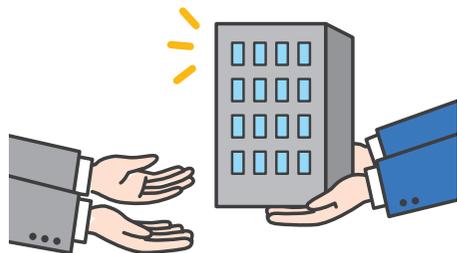


補助事業等の新たな施策は、社会環境の変化等を踏まえて3年を目途に廃止・継続を判断すること(サンセット方式)を原則化しました。

町民に信頼され、愛される役場へ

遊休町有地の有償での貸し出し

具体策100 多様な発想でお金を生む



老人福祉センター跡地、旧電算室、旧包括支援センター等の遊休町有地や施設の民間への有償貸与を開始し、年間1500万円以上の賃貸収入を得ています。また、新たな財源獲得に向けて宿泊税やネーミングライツの導入に向けた調査・協議を行っています。

町民に信頼され、愛される役場へ

町の貯金や借金を適切に管理する

具体策99 町の貯金や借金を適切に管理する



振興総合計画づくりに合わせ、町財政計画の見直しを実施しました。また、急増している企業版ふるさと納税を適正に管理し、有効に活用するために、企業版ふるさと納税の積立を行う基金を設置しました。

町民に信頼され、愛される役場へ

ふるさと納税の強化

具体策101 ふるさと納税の強化



ふるさと納税のポータルサイトや返礼品の拡充、事業者向けのふるさと納税返礼品セミナーの開催、徹底したレビュー対策等を行うことで、寄付額と利用者評価(楽天3点台半ば→4.71点/2024年12月1日時点)の向上に繋がりました。

町の財政状況と展望

P3、P4でお示している通り、町の”収入”は着実に増やすことができます。また、遊休町有地の有償貸付等による更なる収入増を進めるとともに、苦渋の決断ながら町立幼保育園の再編や公営住宅の整備方針変更、公共下水道使用料や国民健康保険税の見直しなど、中長期的な視点による支出の見直しも行いました。加えて、事業を実施する際には、これまで大津町では活用できていなかった国の交付金等も積極的に獲得することで、町会計からの支出の圧縮を進めています。

しかしそれでも、高齢化の進展などによって福祉に要する費用は年々増加しており、また、何より大津町は公共施設やインフラ整備において、以下の3分野への対応が同時に必要な状況にあり、近隣や全国の多くの市町村と比較しても極めて困難な環境にあります。

結果、大きく増加している町の収入(歳入)を踏まえても、町の財政は楽観視できない状況です。引き続き事業実施における無駄をなくすとともに、優先順位をつけて一つひとつしっかりと取り組み、今にも未来にも責任が持てる財政運営・町政運営を進めていきます。



①積み残しの課題

特に学校関係施設は様々な事情で多くが先送りになっていたため、大津中学校(就任後の2022年度より着手)、護川小学校屋根改修(同じく2022年度より着手)、大津南小学校や給食センター等の建替え・改修等はあまり猶予がない状態です。さらに、老人福祉センター、生涯学習センター、総合体育館なども大規模な改修が今後10年前後で必要となります。

②町の発展に伴う新たな課題

SMC進出によって人口や企業が急増する中で、生活道路や排水、下水などの新設や改良が必要になっています。さらに今後は、新たな学校教室、保育所、学童等も必要になる見込みです。

③未来への種蒔き

追い風も吹く中、新たなエリア開発などの中長期的に町を維持・発展させるための取組みも必要です(肥後大津駅周辺整備、空港アクセス鉄道の中間駅周辺整備、幹線道路の新設、工業団地整備等)。

町の展望と今後の取組み

TSMCの進出発表以降、企業進出や住宅開発等の面では町を発展させるチャンスが生まれる一方で、急激な変化による新たな課題も生まれています。

しかし、どんなに環境が変わろうとも、「住民の持続的な幸せの実現」という、まちづくりの根本の目的は変わりません。今後も状況を冷静に把握・分析しつつ、住民の皆さまとは熱く対話しながら、より良いまちづくりを進めていきます。

取組みや基本姿勢としては、引き続き「101の具体策」の大綱を軸に進めながら、TSMC進出をはじめとした大きな環境変化を踏まえた、新たな「大津町のランドデザイン」の実現にも取り組んでいきます。

- ▶ 環境分析① TSMCによる変化と対応 P.49
- ▶ 環境分析② 町に吹く様々な追い風 P.50
- ▶ 今後の取組みと基本施設 P.51
- ▶ 大津町のランドデザイン(ハード整備) P.52



コラム 9

いま、石を投げられてもやるべきことをやる



先日、岡山県のある町長のお話を伺う機会を頂きました。将来を見すえた財政改革で有名な首長です。

中でも「現在のサービス維持や次世代の負担を考えると、いま着手して解決しなければならない課題は山ほどある。例えば、公共施設の統廃合や民営化、上下水道料金の見直し等は誰だって嫌がるし、私だってできればやりたくない。新しい取組みを進めるのには労力も批判もリスクも付きものだし、とりわけ長く着手されていない課題ほど根深い理由がある。当然、それをやれば職員だって大変になる。だけど、いま誰かがやらなければ地域はもたないし住民は守れない。」という言葉が印象的でした。

上記のような取組みは、多くの住民の皆さまにとっては「耳障りのよくないテーマ」です。時には政局に発展して選挙にも大きく影響し、各所から厳しいご意見も多数出てきます。ただ、まずやるべきことをやらなければ、そう遠くないどこかで必ず限界に達しますし、新しいこともできません。したがって、より良い地域を実現するには、もちろん精一杯

「全部上手くやれる方法」を探しながらも、最終的には「あれかこれか」を選択し、時には断行していくことが政治であり、首長の責務だと考えています。

P9のコラム①でもお示した通り、私も町長就任以来、耳障りのよいことだけをやるのではなく、賛否が分かれやすいテーマにおいても、町の今と未来のためなら「いま、石を投げられてもやるべきことをやる」との覚悟で進めています。

政治的な選択において、すべての方々に100%の納得を得られるケースは稀です。だからこそ、引き続き説明責任を果たし、対話をし、時にはその過程で内容を修正しながら、やるべきことを覚悟を持って進めていきます。



TSMC進出による変化と対応

TSMC(JASM)の進出発表以降、町では開発が加速し、様々な変化が起こっています。今後、既に決定しているJASM2棟目の建設が進めばさらに多くの関連企業も集積し、この動きは一層加速します。

一方、全国的には急激な人口減少が進み、熊本県内の45市町村のうち2020年からの30年間で人口が増加するのは、大津町を含む3市町のみとされ(※1)、さらに県内18の市町村は「消滅可能性自治体」とされています(※2)。

こうした事を踏まえれば、現在の発展は町の持続可能性確保の面からは歓迎すべきことだと言えます。しかし、急激な開発は交通渋滞、農地保全、地下水保全、コミュニティの維持、働き手不足、住宅価格・家賃の高騰などの様々な課題(ひずみ)にも繋がります。

人や企業が増えても環境が悪化するばかりなら本末転倒であり、暮らしの質を大切にしなければなりません。ただ一方では、少子高齢化をはじめ社会構造が大きく変わる中、将来に向けて動き出さなければ我々の10年後20年後、さらに次世代の未来を守ることはできません。

「100年に1度」と言われるこの急激な変化の中で、発生する課題を最小限に抑えながら、今の暮らしの質を着実に高めていきます。さらに、行政サービスや都市機能など、未来へ向けて伸ばすべきを確実に伸ばしていきます。

※1 国立社会保障・人口問題研究所 ※2 人口戦略会議資料



町に吹く様々な追い風

「100年に1度」と表現される台湾半導体大手TSMCの進出ばかりが注目されていますが、その他にも、この数年の間に大津町にとって「数十年に一度」と言えるような大きな変化がいくつも集中して起きています。

①阿蘇くまもと空港リニューアル(2023年3月)と国際路線の急増

特に台北便は数年前までは就航していなかったものが現在は週12便が運航しています。空港と肥後大津駅を結ぶ空港ライナーもコロナ禍前を超え、毎日平均400人の方が利用しています。

②東海大学臨空キャンパス開校と肥後大津駅からのスクールバス運行開始(2023年4月)

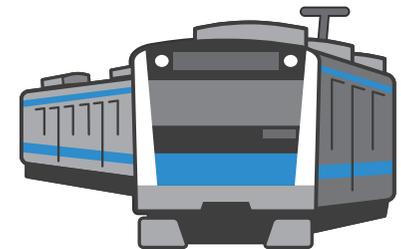
町として駅南口の東側にスクールバス発着場を整備し、毎日約300人の学生が利用しています。また、新たに東海大学(熊本)との包括連携協定も締結し、官学連携の取組みも進めています。

③南阿蘇鉄道の復旧と肥後大津駅への乗り入れ(2023年7月)

熊本地震以降、不通となっていた南阿蘇鉄道(終点:高森駅)の復旧と同時に肥後大津駅の乗り入れが始まりました。観光や通学、通勤など多くの方にご利用いただき、駅周辺の賑わいを高めています。

また、今後10年前後で「空港アクセス鉄道」や「中九州横断道路(大津熊本道路)」も開通する見込みです。さらに、「国際路線の更なる拡大」、「JASMの新棟建設と関連企業の更なる進出」なども順次進み、その過程では我々の生活利便性向上に直結する商業集積も期待できます。

町を取り巻く環境が大きく変わるなか、追い風を生かしながらも、一方で足元をしっかりと見て、町の発展と住民生活の向上を両面で進めていきます。



カナダのこれからの取り組み



1

【101の具体策】 6つの大綱の 更なる推進

- ①命を守る徹底した防災・防犯対策
- ②子育て支援・教育環境日本一のまちづくり
- ③人生100年時代を見据えた福祉
- ④活気とにぎわいを生む仕組みづくり
- ⑤町内産業支援と活性化
- ⑥町民に信頼され、愛される役場へ

2

4つの基本姿勢の 継続

- ①民間の知恵と活力を生かす
- ②先進技術(ICT)の活用
- ③具体的な制度と仕組み化
- ④強力なトップセールス

3

【新しい大津】の 都市づくり (次ページ参照)

- ①肥後大津駅の周辺整備と活性化
- ②空港アクセス鉄道開通促進と中間駅および周辺開発
- ③渋滞緩和と賑わい創出への道路計画
- ④町全体の活性化への都市計画

やります!



ともに進める、新しい大津

「新しい大津」のグランドデザイン

産業誘致エリア

半導体関連企業を中心とした企業誘致を積極的に進めるエリア
【町の取組み】・工業団地の整備(R9年度分譲開始予定)
 ・道路や排水路等のインフラ整備

【片俣圃場整備】

・令和8年度事業採択に向けて調整中
 ・圃場(ほじょう)整備エリア内にバイパスを新設予定

町内全域での取組み

- まちづくりの方向検討(工業、商業等の産業誘致や居住を誘導するエリアの具体的な位置、範囲、考え方を検討)
 - ・第7次大津町振興総合計画の策定
 - ・都市計画マスタープラン、用途地域の見直し
 - ・立地適正化計画の策定
 - ・道路整備計画の策定(南北道路等の検討)
 - ・全体の下水事業検討など
- 教育環境・施設整備
 - ・多様化する教育環境整備
 - ・学校・給食センター整備計画検討
- 地下水保全・農業対策
 - ・地下水保全(量・質)の維持向上、情報発信の推進
 - ・農業の効率化、省力化の推進、就農者支援、スマート農業推進等
- 歴史・文化振興
 - ・町内各地に点在する歴史・文化資源の連結と振興
- 自然災害等への安全対策
 - ・河川の浚渫(しゅんせつ)・護岸整備など

中九州横断道路

※R6.4 大津～大津西間新規事業化決定

【矢護川圃場整備】

・令和6年度から実施

工業団地予定地

町道杉水水迫線の延長

<県事業>

大津植木線及び三吉原北出口線(室北交差点～大津支援学校付近)の多車線化

【町道三吉原北出口線】

拡幅・他を検討中

【昭和園】

・公立認定こども園の設置
 ・公園全体のリニューアル

通信制高校などの新たな教育拠点

肥後大津駅周辺にぎわい創出エリア

交通結節機能の強化や、暮らしやすく・過ごしやすい交流空間の構築等により、賑わいを創出し、町全体の活性化の拠点となるエリア

【町の取組み】

・肥後大津駅まちづくり基本構想の策定(構想に基づく事業計画を策定し、中長期的なまちづくりを実施)
 ・周辺交通の円滑化に向けたバス転回広場の整備(短期的対策)

中間駅 商業・住宅 開発

【運動公園】

周辺エリアの活性化に向けた魅力向上(インクルーシブ遊具の設置等)

【浄化センター】水処理4系目の増設

検討中の空港アクセス鉄道ルート

空港アクセス鉄道沿線開発エリア

中間駅を設置し、宅地や商業施設を誘導するエリア

【町の取組み】

・肥後大津駅と阿蘇くまもと空港の間に中間駅(仮称)を設置
 ・中間駅の周辺に民間事業者による宅地や商業施設の開発を誘導
 ・道路等のインフラ整備

※大津町HP上の資料をもとに作成

プロフィール

金田英樹 (かなだ ひでき)

- 1982年11月 大津町生まれ、大津小、大津中、東海大二高(現:星翔)卒業
- 高校卒業後、米国留学を経て慶応義塾大学経済学部に入學・卒業
- 第一生命保険(東京)に入社
本社の事務企画部で業務の効率化・品質向上等を担当後、英国駐在(ロイズ・バンキング・グループScottish Widows社へ赴任)、国際業務部の業務リーダー(海外子会社等の業務改善、事務分野における未進出国への新規参入策の検討等を担当)、営業職員300人超の支社課長を経て、29歳で退職・帰郷
- 30歳から大津町議会議員を2期8年務めた後、
2021年2月より38歳で大津町長に就任(現在1期目)

日本最大の政策コンテストである
「マニフェスト大賞」において、
優秀賞を通算4回受賞

(2014年 防災部門で団体受賞、2017年 議員部門で個人受賞、2021年および2022年 首長部門で個人受賞)



▲授賞式の様子(東京:虎の門ヒルズ)

主な資格

日本防災士機構認定「防災士」/ 元:地方行政会計の専門資格である英国勅許公共財務会計協会日本支部認定「地方監査会計技能士」/国際コミュニケーション英語能力テスト「TOEIC945」/ ファイナンシャル・プランニング技能検定 2級





「まちづくり町民懇談会」は就任から毎年実施し、校区別、テーマ別などで、これまで20回以上開催してきました。

また、ご依頼を受けて複数の小中学校等で、まちづくりをテーマにした講話も行わせていただきました。

その他、役場内部の業務は全力で行いながら、町内外の行事などにもできる限り、足を運んでいます。

ともに進める、新しい大津



発行：金田ひでき後援会
チームおおづ

〒869-1233 大津町大津1399-4
TEL：070-1291-1271
Mail：ozu.kanada.h@gmail.com



かなだひでき

検索

